

第4回スポーツ皿回し全国大会 概要

主催／日本スポーツ皿回し連盟
後援／福岡県 北九州市
北九州市教育委員会
RKB 毎日放送
大道芸人フレディーノ

1. 期 日 2019年9月8日 (日) 10:30～17:30

2. 場 所 福岡県立北九州パレス
(北九州市小倉北区井堀5-1-3)

3. 参加資格 皿回しを愛好する方、または興味がある方。(年齢制限なし)

※ジャグリング道具であるスピニングプレートなど、皿に見えるものであれば重さも含めて特に指定はありませんが、破損しない素材、安全な道具のみを使用してください。

また、競技によっては規定のものを使用する場合があります(貸出あり)

※当日プラスチック製のスピニングプレートの販売も行います。

※同時に会場内で、初心者向けのワークショップも開催いたします(皿貸し出し費100円)

※チーム戦は3人ひと組。当日の即席チームも可能です。

4. 種目 級位・段位認定部門・競技部門・パフォーマンス部門(各部門、認定証或いは、賞状、トロフィー授与、記念品予定)

5. 参加費 各部門エントリー費、

認定部門500円(小学生未満300円)

競技部門(個人)1000円(小学生未満300円 小学生以上、高校生以下800円)

競技部門(団体)1チームにつき900円(一人300×3名)

(メンバーに小学生未満が含まれていても同様です。)

パフォーマンス部門1000円(小学生未満300円 小学生以上、高校生以下800円)

※エントリー費は当日受付時にお支払い頂きます。

※当日別途100円でお皿の貸出も行います。

6. 持ち物 動きやすい服装

体育館シューズ

昼食(館内に飲食店、また徒歩圏内にコンビニもございます。各自で食事されて下さい)

※同時開催の「来る来るお皿マルシェ」にて軽食の販売を予定しています。ぜひご利用ください。

7. ルール

(級位・段位認定部門)

選手は連盟により定められた級位・段位の技を10級から順番に行ってもらい、認定員により技の認定を行い、レベルに応じて認定書が発行されます。

一つの技に対して、3回までチャレンジできます。

昨年初段以上を取得された選手は段位からの認定となります。

※ただし、昨年5級だった選手が5級からや、2段だった選手が2段からという受け方は出来ません。

あくまでそれぞれの級・段は最初から行っていただきます。

※エントリー数に応じて、一度に3～4名同時に認定を受けていただきます。

※認定部門は競技部門、パフォーマンス部門と同時進行になります。

ただし昨年と違い今回、競技部門の選択制が無くなりなります。(※詳細次項)

全部門にエントリーされる選手の方は、昼休みや、他部門の空き時間などを利用して認定を受けて頂きます。

主催者サイドでも配慮致しますが、くれぐれも認定受け忘れされませんようご注意ください。

※2019年度版の級位・段位はただいま編成中です。7月中旬に連盟HPにて発表予定です。

(競技部門)

個人戦(6種目)、団体戦(3種目)を行い、順位は個人戦・団体戦ともにポイント制で競っていただきます。

※昨年個人戦で用いられた競技の選択制は、より公平を期すために今年はありません。
参加者は全6種目に参加していただきその合計ポイントを競っていただきます。

各種目において、一位3ポイント、二位2ポイント、三位1ポイントとなります。
各種目において、同率の順位の場合は、それぞれにポイントが入ります。
ただし、一位が2名だった場合などは、次の順位が3位になります。

個人戦・団体戦ともに全種目を通した獲得ポイント数で総合順位を決めます。
ただし、総合順位に関しましては、同率の場合は、個人戦6種目のうち耐久(タイムトライアル)を除いた5種目の中から、団体戦の場合は3種目の中から、審査員がその場でくじ引きをし選ばれた種目を競っていただき、最終順位を確定します。

個人戦・団体戦ともに上位1～3位の者を入賞とし、表彰致します。

(競技部門)

○個人戦

種目	ルール
ナンバーズ	回す皿の数を競います。 1本のスティックに対し1枚の皿を回し両手他身体 の部位でスティックのバランスを保ちながら皿を増 やして行きます。 回している皿の一枚でも止まってしまった時点で終 了です。 回した皿が安定する前の落下は、継続してOKで す。 競技者以外に増やしていく時の皿を渡す時の補助 (大会スタッフも可)を1名付けることができます。 ベルトなど日常で衣服として身につけている範囲で あればOKです。スティックを刺す専用の器具は禁 止です。 各エントリー者は2回ずつ行い、良い方の記録を採用 します。
スティックリバース耐久	スティックリバースを 合図に合わせて繰り返し 何回出来るかを競います(方向問わず) 最初に皿の勢いをつけて、スティックを中心に持つ て行ってからは、再び皿に勢いをつけることはでき ません。 上位同回数者が出た場合 同数者のみでもう一度行 います。 各エントリー者は2回ずつ行い、良い方の記録を採用 します。
マキシマムタイムロフト	回す皿を高く投げあげて滞空時間競います。 投げあげて、再びスティックに皿が触れるまでの時 間になりますが、スティックで受けて、勢いをつけ 直すことは可能ですが、センターの穴にスティック を持っていくことまでが工程であり、うまくキャッ チできず落としてしまう等、センターの穴に持って いけなかった場合は失格となります。 滞空時間は3人の審判員が同時にストップウォッチ を使い記録し、3人の平均値を記録とします。

	各エントリー者は2回ずつ行い、良い方の記録を採用します。
耐久 (タイムトライアル)	<p>皿に勢いをつけて10秒以内でセンターの穴に落とします。10秒を経過してからの耐久時間を競います。10秒を経過してからは再び勢いをつけることは出来ません。</p> <p>またバランスが保てても皿の回転が止まった時点で終了となります。</p> <p>電動力の使用は禁止です。</p> <p>15分経過後は競技者と審査員及び計測係を残し競技は継続するが、昼休みの予定時刻12:00を過ぎた場合、既に失格となった選手や競技に参加していない選手は、昼休みとする。</p> <p>また、残り一人になった時点で、記録のためにトライアルを継続するかどうかは、選手に委ねる。</p> <p>※高記録が出た場合、該当選手は昼休み時間が短くなる可能性があります。何らかの配慮は致しますが、十分なフォローができない可能性がございます。予めご了承ください。</p> <p>各エントリー者、1回のみ行えます。</p>
エクспанディング スティック	<p>予選はジョイント付きのスティックを4本使用します。</p> <p>スタートの合図でその棒を使い皿を回し、回したら残りの3本を順次下につなぎ5秒間のハンドバランス終了までのタイムを競います</p> <p>途中で回転が止まったり、皿が落ちたりしたら最初からやり直しとなります。</p> <p>またエントリーの人数により予選上位3～5名で決勝を行います。</p> <p>決勝は繋ぐスティックの数を更に増やして(5～6本安全性を考慮して調整中)同じくタイムを競います。</p> <p>予選・決勝ともに1回のみ行えます。</p> <p>※ジョイント付きスティックは事務局が準備したものを使用します。</p> <p>ジョイント…外径12mm・板厚1mm・アルミ製 スティック…長さ約50cm・直径10mm・木製</p> <p>※スティックは手作りですので、多少大きさに違いがある場合がございます。予めご了承ください。</p>
プレートランニング (50M)	<p>皿回しをしながらの50M走のタイムを競います。</p> <p>皿を落としてしまった場合には、落とした場所から皿を回し直し、その場からの再びスタートになります。</p> <p>指で回してスティックに載せるのはOKですが、ランニング時はスティックを使用して下さい。</p> <p>各エントリー者、1回のみ行えます。</p>

※ナンバーズに対しての皿はその競技に対してのみ無料で貸出いたします。

○団体戦

種目	ルール
カップバランス	<p>チーム内の一人が主催者サイドでご準備致します椅子(一般的なパイプ椅子です)に、座り残り二人で座っているチームメイトの頭に主催者サイドでご準備皿を積み重ねていき(一般的なスピニングプレートです)、その枚数を競います。</p> <p>皿を積み上げて5秒以上静止できたところで成功と</p>

	<p>なります。</p> <p>5秒静止前に崩れたら、積み上げる前の枚数までが記録となります。</p> <p>積み上げている最中に既に積み上がっていた皿にズレが生じた時は、手でズレを直すことも可能です。</p> <p>積み上げる二人は主催者側が準備した洗車台を使用することが出来ます。</p> <p>また、前の皿を積み上げて次の皿を積むまでの時間は30秒以内を基本とします（ただし、一旦積み上げたあとに修正のため再度除けることも可能です。）</p> <p>各1チーム1回のみ行えます。</p>
皿 in the box	<p>回主催者サイドで準備したお皿を所定位置に設置されたボックスに、1分間以内に投げ入れる枚数を競います。</p> <p>選手はチームごとに一つのボックスを選手3人でボックスから2.5メートルの位置で三方向から囲みます。</p> <p>スタートの合図とともに、3人一斉に皿を回し、ボックスに投げ入れてもらいます。</p> <p>各チーム2回ずつ行い、枚数の多い方の回を記録とします。</p>
リレー	<p>3のランナーが横一列に並びます。</p> <p>1人目がスティック伝いに皿を2番目の人に渡したら、3番目の人の後ろに回り込みます。</p> <p>2番目の人も同様に3番目の人に渡したら、更に最初の1番目の人の後ろに回り込みます。</p> <p>このようにして皿を回していき、25メートルをリレーし、ゴールまでの速さを競います。</p> <p>途中皿を落とし場合は、落とした人のところから皿を回し直し、続けていきます。</p> <p>各チーム1回のみ行えます。</p> <p>※エントリーチーム数により、予選と決勝を行う可能性がございます。</p>

※競技の種目は、個人戦・団体戦ともに変更・追加される可能性があります。

変更時は既にエントリー頂いている方々にはメールにて、その他連盟のHP・FBページ・ブログなどで随時お知らせ致します。

※団体戦は当日その場での即席チームでの参加も可能です。

〈パフォーマンス部門〉

<p>ルール・参加資格</p> <p>個人・チーム問わず規定時間4分以内でのお皿まわりのパフォーマンスであれば大きな規定はありません。</p> <p>技術だけではなく、仕掛けを施した皿の使用も可能です。</p> <p>運営で準備をしたPAセットから音楽を流すことは可能ですが、きっかけなど細かい指示がある場合は、出場者で別途オペレーターを準備してください。</p> <p>規定時間は4分以内ですが、超えた場合にも減点対象にはなりません。</p> <p>4分で終了の合図が鳴り、15秒を経過した時点で強制終了となります。</p> <p>審査方法</p>

<p>技術・オリジナリティ・エンターテインメント性を加味して、審査員が10点満点で採点し、合計点を競います。 合計点、上位1～3位の者を入賞とし、表彰致します。</p>
<p>禁止事項</p> <p>観客に危険が及んだり、落とした場合等に床など施設を傷つける恐れのあるパフォーマンスは禁止いたします。 火気の使用も禁止いたします。 公序良俗に反するパフォーマンス。</p>

- ※パフォーマンス部門のルールは、変更・追加される可能性があります。
変更時は既にエントリー頂いている方々にはメールにて、その他連盟のHP・FBページ・ブログなどで随時お知らせ致します。
- ※1～3位までの順位において、同点となった場合は、審査員による決選投票、それでも決着がつかない場合は、観客の拍手の量により勝敗を決めます。
- ※パフォーマンス部門では、1～3位までの入賞者とは別に、審査員の点数とは関係なく、特に印象的なパフォーマンスをした者1名を審査員特別賞として表彰します。

8. (競技部門個人戦内及びパフォーマンス部門内・シルバー部門新設)

競技部門個人戦及びパフォーマンス部門において、年齢による部門分けをというご意見を多数頂きましたことを考慮し、今回競技部門個人内におきまして、シルバー部門を新設致します。

このシルバー部門は参加される65歳以上の選手で希望する者をシルバー部門の選考対象とします。各競技自体は一般選手と共に行ってい頂き、一般選手と同じポイント制・順位の対象となり、1～3位まで表彰されます。

ただし、別途65歳以上のエントリー者の中でのポイント順位もつけ、その中で1位の選手のみ個人にシルバー部門1位として表彰されます。

シルバー部門エントリーはあくまで希望する選手のみとなります。エントリー時に「シルバー部門希望」にチェックを入れてください。

また、シルバー部門エントリーに際し、費用を別途はご負担頂くことはございません。

9. 交通費・宿泊費補助について

交通費補助

昨年開催された第3回大会にて、競技部門個人戦及び、パフォーマンス部門において、各3位までに入賞されました選手の方にエントリー頂いた場合は一部、交通費の補助を致します。

支給額を以下に定めます。

- ・九州・山口圏内 5000円
- ・その他の地域 10,000円

宿泊費補助

昨年開催された第3回大会にて、競技部門個人戦及び、パフォーマンス部門において、各3位までに入賞されました選手の方にエントリー頂いた場合は一部、宿泊費の一部補助を致します。

一泊につき宿泊費の2割(上限1,000円)、2泊分までの補助致します。

宿泊補助を希望される方は、エントリー時に申請されてください。

補助対象となられた方は、事前に金額をメール等でお知らせ頂き、大会当日宿泊の領収書等、金額が証明出来るものを持参ください。

当日終了までに何らかのタイミングで精算致します(調整中)

10. 級位・段位認定委員資格について

認定会部門にエントリー頂き、初段以上の段位を獲得した参加者で希望される方には、級位・段位認定会を自身で開催し、認定証を発行できる認定員の資格を授与します。(有効期限発行日より1年)

不正防止等の簡単な誓約の書面にサインを頂き、発行手数料(200円)を収めて頂ければ、認定員証を発行致します。

また、1セット（20枚入り）500円にて、有資格者のみが購入出来る連盟印が捺印された認定証用のカードの販売を致します。

ぜひスポーツ皿回し普及活動に参加してください！

11. 物販について

当日の参加者（参加団体）の中で自作の皿やジャグリング道具の販売ブース設置を検討しております。広さに限りがございますのと、あくまで大会がメインですので参加者同士の交流という趣旨をご理解の上、ぜひ自慢の道具を出品されて下さい。

なお、販売できるものは皿回し・ジャグリングにまつわる物のみとし、売り上げの10%を出店料として、徴収させていただきます。

また、今回ご参加の皆様とより多くの交流と大会を楽しんでいただくために、会場施設内の別室（研修室）におきまして「来る来るお皿マルシェ」を開催いたします

例年物販は会場受付付近にて行っておりましたが、或いはジャグリング物販の一部（または全て）、マルシェ会場での実施となるかもしれません。予めご了承ください。

「来る来るお皿マルシェ」では、飲食ブースも出店致します。
お昼ご飯はぜひこちらで♪

出展ブースのレイアウトや実施方法は、希望者の方々の人数にもよりますので、まずは希望される方は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

11. 当日の大まかなタイムスケジュール（変更の場合有り）

メイン会場		サブ会場	
10:00	受付開始		
10:30	開会式		
10:50	競技部門個人戦	11:00	認定部門開始
	① ナンバーズ		
	② スティックリバース耐久		
	③ マキシムタイムロフト		
	④ 耐久（タイムトライアル）		
12:00	お昼休憩	12:00	お昼休憩
13:00	午後の部開始	13:00	認定部門
	⑤ エクспанディングスティック		
	⑥ プレートランニング		
14:00	競技部門団体戦		※認定部門はメイン会場の種目により、随時休憩を入れる場合がございます。
	① リレー		
	② 皿 in the box		
	③ カップバランス		
15:00	パフォーマンス部門		
16:45	エキシビジョン		
17:00	審査結果発表・表彰式・閉会式		
17:30	終了	15:00	終了

12. 詳しいお問い合わせ先

sportssaramawashi@gmail.com まで。

応募締切は 2019 年 8 月 20 日（必着）です！